

■第1回ワークショップ討議結果

1. 日時、場所

- ・日時：平成25年2月18日（月）10：00～11：40
- ・場所：生涯大学校

2. 参加者

- ・生涯大学院1年生15名
 - ：1班－7名
 - ：2班－8名

3. 討議内容

(1) 討議テーマ

- ・「生涯を通して市民が学び成果を活かせるまちづくりの取り組みについて」

(2) 討議内容（1班）

○現在の学習成果を活かした活動について

- ・現在の成田市で、学習成果を活かし活動が行われているか等について、以下のような意見が出されました。
 - ①参加したくても参加できない（抽選にあたらない）
 - ：成田市広報誌（1日、15日）にいろいろな募集、講習が出ていますが、ハガキを出しても当選しない事の方が多い。年間少なくとも2,3回は募集して欲しい。
 - ②地域と子どもとの交流活動に学習成果が活かされている
 - ：小学生への昔の遊びの伝承や絵本の読み聞かせ等の活動
 - ：町内会、自治会の正月行事（どんと焼きの行事）で子どもとのコミュニケーションづくりに活かされている。
 - ③広域との交流に学習成果が活かされている
 - ：ウォーキングクラブに参加しており、ウォーキングイベントで市外の方との交流が図られている。
 - ：公民館でのサークル活動で、市内他地域の方との交流が図られている。
 - ④市民の声が反映された行政運営が行われている
 - ：公園道路を含むインフラ整備が充実している（市民の声がよく反響されている）
 - ：消防の出初式等も市民と行政が協力して行われている。
 - ：各種スポーツ団体の意向をふまえ、体育施設も充実している。
 - ：福祉、病院施設も他市に比べ充実している。
 - ⑤ボランティア活動が盛んに行われている
 - ：市ボランティアセンターに登録された団体は100を越え、子育て・教育・福祉・環

境・美化・交通安全・防犯、防災等様々な分野で市民生活を盛り立てている。

○活動を拡大するための課題は何か

・活動を拡大するための課題について、以下のような意見が出されました。

①「参加したくても参加できない」問題の解決に向けた課題

- ：予算配分を調整し、教育分野やコミュニケーション分野の方に重点をおくことで、参加の機会を増やす。
- ：充実した施設や財源を活用して、市民自ら行動して、各種大会や催し物を積極的に行うことが重要である。先ず市民が行動し、行政の支援を得ていくことが望ましい。
- ：地域ごとに分けて募集すれば、参加の可能性が増える。
- ：募集回数を増やすことで、機会を拡大する。
- ：学校と連携をとり、ボランティアに参加できる回数を増やす。

②「地域とこどもの交流活動」を促進するための課題

- ：成田市独自の特区を設定し、教育に力を注ぎ、地域とこどもの交流を促進する。
- ：タウンミーティング等で子ども教育に関する提案の場をつくる。
- ：学校教育の場にPTAのほかに、社会教育（スポーツを含む）団体等が参画できる道筋（教育委員会規則が）できるとよい。

○課題を解決する方法について

・課題を解決する方法の1つとなる「生涯大学院ができること」について、以下のような意見が出されました。

- ：生涯大学校の卒業生で、市民活動グループを設立していく。その上でOBと現役大学院生の交流を進め、活動を促進していく。
- ：生涯大学院の位置づけやまちづくりに対する役割について意見集め、生涯大学院の位置づけの検討を進める。
- ：生涯大学院に「街づくり」に関する授業、サークル等があっても良いのではないかと（OBも含めて）
- ：専門講座で、まちづくりの役立つことを学び、積極的に活動出来たら良いと思います。
- ：生涯大学院の学習内容に、市民協働の主旨を含んだカリキュラム（授業）を設けて、学生に積極的に取り組ませれば、何かの成果を出せる。
- ：自分たちが得意とする講座の授業を生かしてボランティア活動を広げていく（学校・地域・福祉・園芸・音楽・殿芸・習学・体育）

- : 生涯大学院生が地域と連携をしてボランティア活動に参加する。
- : 専門講座での音楽活動を活かせば良いかと思います。

(3) 討議内容 (2 班)

○成田の魅力について

・現在の成田市で、魅力と思われることについて、以下のような意見が出されました。

①健康・医療について

- ：病院・医療施設が他市に比べて充実している。
- ：大きな病院が近くにあり安心して暮らしやすい。
- ：高齢化が進むので医療等について力を入れれば、より魅力的な街になれる。
- ：さらに高齢者が元気で健康に暮らせる街づくりを目指す。

②道路整備について

- ：道路がきれいに整備されている。
- ：農道まで舗装されていて良い
- ：自然環境が良い。
- ：地方都市としては交通の便が良い。
- ：公園や緑が多く子育て世代の方の環境が整っている。

③財政について

：他地域と比べても財政は豊かで、サービスレベルが高い。とくに医療は充実している。

④その他

- ：成田市は、文化的な都市・美しい町・国際都市・暮らしやすいことが魅力。
- ：年間のイベントが多く、高齢者でも参加出来るものが多いことが良い。
- ：サークル活動で公民館を利用するが施設が立派である。駐車スペースがもっと広いとさらに良い。

○成田市をより魅力的な街にするための課題は何か

・魅力的な街にするために医療を中心にその課題について、以下のような意見が出されました。

①成田市の医療がさらに魅力を増すために取り組むべき課題

：高齢者など車を持たない人たちの、病院までのアクセスの充実（デマンド対応型バスなど）

- ：保健福祉館の医療センターを一般病院が開始される午前 8 時頃までに拡大する
- ：成田市における医療機関マップがあると便利
- ：高齢になっても近くで安心してかかれて入院出来る病院、往診を増やして欲しい

②個人や少数グループが健康を促進する活動をするための課題

- ：自治会などが中心になり、スポーツや体操など誰もが参加しやすいよう支援する
- ：健康になるための市の活動は充実しているが、市民の理解、取り組みが低下しているので、講演会や健康についての広報誌など情報提供が必要。

：個人が健康を保持・増進することの重要性のPRが必要

○課題を解決する方法について

・課題を解決する方法の1つとなる「生涯大学院ができること」について、以下のような意見が出されました。

①個人で出来る問題解決への取組

：食生活、運動の大切さ健康管理の実施

：医療は自己管理からなるので、日野原先生のお話にもあったように腹6分目にして、体を動かすようにしていく。

②自治会等の問題解決への取組

：市民活動の最小単位である自治会内で、個人が気軽に参加できる健康促進活動を組織化し支援する。

：自治会と市が協力し高齢者が長く健康でいられるような、支援サービスを共同で検討する。

③行政の問題解決へ向かう取組

：市又は地域で運動する場所や機会を設けてほしい。

：健康を推進するようなイベントを主催してほしい。

：公園にアスレチックを作る

④行政・自治会・市民が連携して問題解決へ向かう取組

：公園などの多数人が集まれる場所が随所にあるので、地区、地域で集まってラジオ体操などをして交流を深めながら健康を保つ活動を広める。

：生涯大の様な多くの皆さんと活動のできる所で、いろいろな人との情報交換などから自分に適した健康法を考える。